

落合町だより

編集・発行
落合町内会
自治会連合会
発行責任者
土井 澄 男

9月1日防災の日に

自主防災会

会長 竹本 征彦

必ず災害は発生する。被害を少なくするにはどうすればいいかが問われています。

結論は「自分の身は自分で守る。地域は自分たちで守る」。

平成の30年間で中国5県の風水害や土砂災害による死者・行方不明者は525人になり、広島県が289人で55%と突出しています。

平成30年7月の西日本豪雨をはじめ、甚大な被害を引き起こす豪雨が近年増加傾向にあります。

先の参院選当日、安佐北・安佐南区各地で警戒レベル4の避難勧告、指示が発令されました。

当然のことですが、

各自住んで

いる場所

所はそれ

ぞれ全て

環境に違

いがあり

ます。学

区単位で

発令され

る勧告、

指示への

対応も各

人各人で

みんな違

いがある

はず

です。

その時、

自分はどう

行動するの

かがベスト

なのか、シ



は避難行動そのものが危険な場合は動かない、という選択もあります。

自分が住んでいる場所はどんな環境にあるのかを知っておくことは第一に大切なことです。

学区では、地域は自分たちで守るため、防災士の養成を進めており、現在6名が資格者となっています。この6名を中心に自治会役員の協力を得て「地域防災ハザードマップ」作りを進めています。

防災士は地域に少しでもお役に立てるよう頑張ります。

夏祭り屋台を出して

金平東自治会

会長 石下 久志

自治会では、行事への地域住民参加者の減少、役員の高齢化、若い世代とのつながりのなさなど、様々な問題が生じて、年々、活動が難しくなっています。

この様な状況に歯止めをかけるため、自治会の祭りやイベントに参加することで、自然と近

所付き合いができるのではと思いい、「見に行く夏祭り」から「行う夏祭り」にしようと、積極的に声かけを行いました。

夏祭りの半年前から連合会役員の方に出店の相談をし、4月の東会さくら祭りで試しに色々な食べ物を作ってみて、当日は焼肉を出店したところ、15kgの肉はすぐに完売しました。また、この他にも、子どもたちが自ら遊べる場所を提供したいの思いいから、輪投げを手作りし、出店しましたが、これも大盛況でした。

準備など不手際もあつたかと思いますが、連合会や自治会の方のご協力のもと、夏祭りを無事にやりとげることができました。本当にありがとうございます。

私達は、これからも昔からの行事などを大切にして、次の世代に引き継いでいきたいと思っていますので、今後ともご協力よろしく願います。

みんなに、いい笑顔を！

行きも帰りも 広島バスで (赤バス)

「地域起こし推進員」の活動

藤堂 秀則

地域起こし推進員とは、安佐北区コミュニティ交流協議会に属し、区内の各小学校区26学区より1名から2名選出されたメンバーが、先進的な地域活動や町づくりに関わる知識を学ぶ講習会を受講したり、研修会等を通して、安佐北区の活性化を目的として様々な活動を行っています。

今年は31名でスタートしています。

活動の中で最も主なものは、体験型研修となる「あさきた元気フェスタ」の企画・運営です。

このイベントの構成は3部門からなり、ステージ部門の活動発表、地元産品部門の物品販売、イベント部門は参加者体験型となっています。

毎年、各学区で地元のお宝と

思える活動団体やお店等を探して、出演や出店をお願いして運営を行っています。

昨年は豪雨災害のため中止になりましたが、一昨年はステージ部門10団体、地元産品部門18店舗、イベント部門6団体に参加頂き、にぎやかで活気のあるイベントになりました。

今年もまた出演団体や出店で貰う店を募集しています。これは、というお宝があれば、ぜひご紹介ください。

今年も12月1日(日)に安佐北市民センターで開催予定です。ぜひご来場ください。

小学校階段風雨対策工事

耐震工事で降懸案であった階段の風雨対策改修工事が、7月末より本格的に始まりました。

完成は9月末の予定です。

10月から雨・雪の降り込みがなくなり、子どもたちの学校生活がより安全になります。

行事予定

連合会

◎ウォークラリー

10月14日(月) 中山公園・小学校

◎グラウンドゴルフ大会

11月10日(日) 中山公園

体育協会

◎広島市スポレク・フェス

10月13日(日) 広島広域公園他

◎ゲートボール大会

12月3日(火) 落合南第5公園

防犯組合

◎防犯講習会 公民館共催

10月4日(金) 13時30分

真亀公民館2階

「安全・安心な

地域作りのために」

講師：

安佐北警察署

生活安全課

交通安全課

石川善久氏

黒川 等氏

交通安全協会

◎秋の全国交通安全運動

9月21日～30日まで

「6月6日登校時の話です。

赤信号で横断する高齢歩行者に声をかけて注意すると、こんな一言

「信号赤は知ってます。

車が来ないので渡ります」

エエ?? それはないでしょう。

常に大人は子どもの手本でありたいものです。」

青少年協

◎高陽地区青少年意見発表大会

11月17日(日) 高陽公民館

◎朝の一斉見守り・挨拶運動

11月25日(月) 学区内通学路

小学校PTA

◎なかよし文化祭&

ヒガピーフェスティバル

11月9日(土) 落合東小学校

40年前のタイムカプセル 大勢が集い令和に開く

落合中学校 昭和54年卒業生
昭和54年3月落合中学校卒業
の3年4組溝本先生のクラス45
名が、タイムカプセルを体育館
北側に埋設しておりました。

卒業後40年が経過し、令和元
年を機に、先生にもご出席して
頂き、特製カプセルを8月に開
けました。



卒業当
時の様子
や、いろ
いろな思
い出が詰
まったカ
プセルは
神々しく、
大きな歓
声があが
りました。

暫くは各自の思い出や、作品
に目を通してながら、笑い声が絶
えませんでした。

皆が歳を重ねそれぞれの立場
で活躍していることを知り、過
ぎてみれば40年は早かったよう
に思います。

会食の間にはさみ、再会を約
束して終わりました。
記念碑をその地に残しました。

ひろば

落合東学区子ども会育成協議会
発行責任者 吉井 彩

○プ子運動会 7月6日(土)

落合東小学校にて、たくさん
の子どもたちが参加し、総勢1
11名で8種類の競技を行いま
した。



9名の年少
リーダーの進
行により、学
年別競技で、
しつぽ取り・ピンポン渡し・障
害物競走などで汗を流しました。

また、全学年参加のキャタピ
ラー、4く6年生のリレーでは
たくさんの方の応援で盛り上がり、
楽しい運動会となりました。

○区子連ソフトボール

7月28日(日)

安佐北区子連ソフトボール大
会に11名が参加しました。

蒸し暑い中、ホームランを打
つ子や、初めてのポジションで
試合に励む子など、一生懸命試

合に臨み
ました。

初戦は
5対0で
勝利。決

勝戦は深
川との対

戦で、1
対2で惜



しくも負けてしまいましたが、
準優勝という、輝かしい結果を
残すことができました。

○夏祭り 8月3日(土)

中山公園で開催された夏祭り
でビンゴゲームを行い、200

人を超える大勢
の子どもたちと
年少リーダーで、
大変盛り上がり
ました。
また、くじ引
きやヨーヨー釣



りを出店。スタートから長蛇の
列でにぎわい、早々に完売とな
る大盛況ぶりでした。



行事予定

◎市子連夏季球技大会出場
フットベースボール

9月8日(日)

コカコーラウエスト野球場

◎秋のお楽しみ会

11月16日(土) 落合東小学校

◎子どもフェスタ in 高陽

12月1日(日) 高陽公民館

社協だより

落合東地区社会福祉協議会
社協だより
発行責任者 谷本 俊明

包括支援センターは

広島市高陽・亀崎・落合地域包括支援センターです。私たちは、広島市から委託を受け、高陽・亀崎・落合の中学校区を担当しています。65歳以上の高齢者の方の生活全般に関する相談窓口です。

健康を維持したい、最近物忘れが増えてきた、身に覚えのない請求書が届いてどうしたらいいのかわからない等のお悩みに、専門員が相談対応いたします。

また、地域の見守りや、いきいき百歳体操等をきっかけとした集いの場づくりのお手伝いもしています。

センターで解決できない相談内容であれば、内容に応じて他の窓口に繋ぎます。職員は事務員も含め13名。秘密は守ります。相談は無料ですので、困った事があつた時、お気軽にご相談ください。

包括センターに來所、電話、訪問での相談や、フジグラン高陽店2階エレベータ前での出張相談

(毎週水曜日10時〜12時) もご利用いただければ幸いです。

地域包括支援センター

深川6丁目3-26(JA深川支店隣)
月〜金 8:30〜17:15
(土・日・祝休み)
電話 082(841)5533

花クラブ令和

「軽度認知症(MCI)」研修

福祉活動の一環として「軽度認知症(MCI)」の予防について「研修会を8月28日に開催、多くの出席がありました。

認知症は癌より怖いと言われますが、関心の高い事がよく分りました。

これから
も研修を重
ねながら、
健康に気を
つけて、一
日でも長く
元気で暮ら
したいものです。



令和特集

民生委員から一言

多嶋 善孝

民生委員児童委員として早いで二期6年を迎えました。

これまでに各種研修会を受講したり区内の行事に参加したり、また、施設見学をしたり貴重な体験をしました。

少子高齢化が進む中、私の担当区域も高齢者の方が増え、地域のつながりが希薄にならないように、町内の連帯感を大切に、社会環境の様々な問題に対処しなくてはいけないと思います。

また担当区域では一人暮らしの方も含め、月一回「いきいきサロンくむら」や週一回「いきいき百歳体操」があり、健康増進の目的と、もう一つは「見守りの場」として顔を合わせることや話をすることで、見守り合いの目的もあり、良い事だと思えます。

地域のお一人おひとりが健康で生きがいを感じ、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、これからも頑張っていきます。

福祉推進委員から

西川 けい子

福祉推進委員は、常に地域のアドバイザーとして活動をしております。

今では学区内にサロンが8グループもありますが、各サロンの会員は平均20人前後です。

ボランティアや民生委員さんが中心となつて運営されています。サロンには歩いて来られる方が多く、地域の情報発信の場でもあります。

欠席された方の報告も受けたりしながら、約2時間、60〜80歳以上の方が活動しています。

サロンには女性は気軽に来られますが、男性はなかなか参加が少ないようです。最近は百歳体操が始まって男性も少しは増え、楽しく運動をされています。いいことだと思えます。

人と人との触れ合いの中で、少しでも笑顔のある生活ができればより楽しい人生になるかと思えます。

いつまでも青春の気持ちで毎日過ごしたいものです。